



報道関係各位

2017年1月28日  
公益社団法人企業情報化協会

—NEWS RELEASE—

## 「Super SE 100 人衆(IT 優秀個人表彰)」第3期5名決定

公益社団法人企業情報化協会(通称:IT協会)では、平成28年度第34回IT賞受賞企業の中から特に顕著な活躍・貢献したと思われる個人7名を選出し、このほど第2期のSuper SE100人衆として表彰する。

IT協会では昨年度より毎年5名から10名程度をめどにSuper SEを選出し、最終的には100名を目指す。

今年度Super SE 100人衆として表彰される7名は以下の通り。また表彰式を2017年2月9日に開催される「第32回IT戦略総合大会」会期内にて行う。

会社名	氏名
日産自動車株式会社	上村 康史
新日鐵住金株式会社	関戸 雅司
東京海上日動システムズ株式会社	吉村 幸一郎
株式会社日本総合研究所	福本 力
株式会社公文教育研究会	大村 武志

(順不同・敬称略)

### Super SE100 人衆とは

- IT賞受賞企業からの人材候補者の推薦をベースに選定。人材候補は自社社員に限らずIT推進のパートナーからも選出。ただし、事業や企業の経営者の地位・役割ではなく、IT関連の実務家として卓越している人材を推薦するという視点から選定した。
- Super SE選出には毎年5名～10名をめどに行い、対象者の数を増やしていくことを目指し、最終的には100名を目指す。なおある程度の蓄積が得られたら、IT協会において「IT上質人材像」の具体化のための研究に結び付けていく。
- また受賞者の推薦理由をIT活動領域とタイプ別のマトリックス(推薦シート)の上にプロットし、どのような行動様式や思考様式を持った人材がどのような業績をあげるかという関係性を分析する。これによって、現実的かつ経験的に辿ることができる卓越人材のスキル特性を描写することを最終目標とする。

## 平成 28 度IT賞「Super SE 100 人衆」受賞者と推薦理由

受賞者名	会社名・所属
関戸 雅司	新日鐵住金株式会社
<p><b>【推薦理由】</b></p> <p>受賞テーマのうち、「高度生産管理システムモデルの構築・展開」について担当し、チームメンバーを指導しながらも自らも企画し、また業務部門とも密接に連携し、中心となって推進した。</p> <p>国内ベストプラクティスモデル(BPM)構築に際しては、12ある製鉄所と長期にわたって何度も議論等を進め、各製鉄所のベストなシステムやり方を見極め、モデル化し構築した。海外などのシンプルな工場向けには、海外での生産管理システム構築指導の経験なども活かし、海外での作業実態を踏まえた中においても必要不可欠機能を担保し、更には将来的な高機能化へもスムーズに成し遂げられるように、BPMを元に標準モデルを構築した。</p> <p>これらについては、既に国内・国外ともに数か所導入済みであり、本人だけでなく育成してきたチームメンバも含めて、順次国内・海外展開を進めているところである。この取り組み内容は、将来の「仮想一貫製鉄所」実現のベースにもなる、海外の製鉄所にも展開可能なモデルとシステムであり、将来のグローバル管理の礎とも言える。</p>	
吉村 幸一郎	東京海上日動システムズ株式会社
<p><b>【推薦理由】</b></p> <p>お客様の”いざ”という時に、“あんしん”をお届けする、保険会社の損害サービス(事故対応)を支える損害システムの全面再構築プロジェクトをリードし、成功に導いた。</p> <p>立ち上げから、国内損害保険会社の大規模基幹システムでは初となる海外パッケージ導入の選定、開発、サービスのリリースに至る全ての期間において、リーダーシップを発揮し、プロジェクトを強かに推進した。</p> <p>開発にあたっては、多くのメンバーがそれまでメインフレームでの開発しか経験が無く、初めて行うオープン系システムの開発に戸惑う中、若手技術者の育成組織から立ち上げ、開発の主力を担う人材を数多く育成した。また、パッケージの基本機能を損なわずに日本ならではの精緻な保険サービスをいかに実現するか、数多くの関連システムとのデータ連携をいかに標準化するかなど、ビジネス面・IT設計面の両面から、そのデザイン力・設計力をいかに発揮した。</p> <p>ビジネスの勘所を押さえ、実現性を十分に考慮した提案は、ビジネスサイドの信頼も厚く、技術に裏うちされたリーダーシップは、若手技術者が目指す理想の姿として活躍している。</p>	
福本 力	株式会社日本総合研究所
<p><b>【推薦理由】</b></p> <p>取引印に代わる機能として、電子署名機能を用いて融資の電子契約を可能とすべく電子署名基盤を新規に構築。お客さまがインターネットを用いた契約締結を実現するため、安全な電子証明書授受の仕組みを実装。また、SMBC法人向けインターネットサービスValueDoorとの融合により、既存取引先顧客の利便性を損なうことなく、紙契約から電子契約へ移行できる環境を提供した。</p> <p>システム開発担当として、ユーザー要件を十分に理解し企画・要件を整理。開発工程において、開発全体のプロジェクトマネージャーとしてプロジェクトを牽引。システム仕様・課題・品質管理、スケジュール管理、コスト管理を統括。</p>	

融資契約の電子化という、銀行業務として先進的なスキームを実現すべく検討。開発体制ではその分野の先端となるベンダを調達し案件推進を滞りなく実施できるよう要員マネジメントを実施。

開発においては各開発工程実施前に次工程着手の1ヶ月以上前から一部機能をプレ実施する期間を設けることで、次工程開始時点で大きな問題が発生しないようマネジメントを行い、各開発工程で大きな遅延発生抑止、及び安定した製造品質が提供できるようプロジェクトを管理し、成功に導いた。

大村 武志

株式会社公文教育研究会

#### 【推薦理由】

- ・弊社のKIDSシステム(海外基幹システム)構築に途中から参加。
- ・特に海外展開時の事前打ち合わせ、仕様調整で相手の立ち場を尊重しながらも、システムの標準化を徹底させることに寄与した。
- ・ロンドン、ニューヨーク、サンパウロ、シンガポール、香港にいるIT担当者を掌握し、システムにおけるガバナンスの徹底をはかり、各地域本社ごとの無駄な開発や、標準化に反する行為をストップすることができた。
- ・世界35カ国の導入では2013年から毎年100日以上海外出張をこなし、スケジュール通りにシステム導入を行った。

#### Super SE100 人衆選考の視点

- 1) ビジネスやマネジメントに関する独自の視点やアイデアの発揮
- 2) 企業価値、商品価値向上に資する IT 活用アイデアの提供と具現化
- 3) 顧客もしくは自社における新たなビジネス創出への関与と貢献
- 4) ユーザの業務に対する本質的な理解
- 5) 安全・安心・コンプライアンスの遵守への貢献
- 6) プロジェクトマネジメントスキルおよびリーダーシップ
- 7) IT の動向や活用に関する理論・技術への見識と適用

※人材像を理想型として描く時には往々にして期待される全ての特性や能力を備えた「スーパーマン」を求めるような議論になりがちであるが、ここでは上に述べた七つの視点の全てを兼ね備えた「幻の人材」を探し求めるのではなく、七つの視点(七芸)の中の一芸・二芸・三芸に秀でた実在する人材を探し、そこから理想型としての理想人材を想定することを考えた。

#### IT 賞とは



公益社団法人企業情報化協会(会長:宇治 則孝 日本電信電話株式会社 顧問)では、昭和 58 年 3 月に設定した情報化優秀企業・自治体・機関・事業所等表彰制度に則り、わが国の産業界において、“IT を活用した経営革新”に顕著な努力を払い優れた成果をあげたと認めうる企業・機関・事業所・部門あるいは個人に対して IT 賞を授与している。このたび、平成 26 年度 IT 賞審査委員会(委員長:斎藤信男 慶應義塾大学名誉教授)において、厳正な審議のもと、25 社 18 件の受賞を決定した。

#### 公益社団法人企業情報化協会(IT 協会)について

名称 : 公益社団法人企業情報化協会(通称:IT協会)  
会長 : 宇治 則孝(日本電信電話株式会社 顧問)

設立 :1981年7月16日

会員数 :200社

所在地 :〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 15階

電話 :03-3434-6677 URL:[www.jiit.or.jp](http://www.jiit.or.jp)

※本件に関するお問い合わせ先

公益社団法人 企業情報化協会(IT協会) IT 賞事務局 E-Mail:info@jiit.or.jp

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 15階

TEL 03-3434-6677 FAX 03-3459-1704

以上